

D E N T A L DIAMOND

2017年8月1日発行(毎月1回1日発行)
第42巻第11号 通巻621号
ISSN 0386-2305
昭和51年6月2日 第3種郵便物認可

8

アクティブライフを実現する 医科歯科連携

花田信弘 武内博朗 栗林伸一 小林友依

フッ化ジアンミン銀を活用した
活動性根面う蝕マネジメント“SDF法”

福島正義

歯周病患者に水圧拳上術を併用した
上顎臼歯部のインプラント治療

雨森洋貴 松田哲

パラアスリートへの歯科的支援

武田友孝

新連載

+

きつとうまくいく!

医院承継

神木孝太郎

私の
厳選
白衣



interviewee

ささざわ歯科医院 副院長

笹澤 麻由子 先生

日本アンチエイジング歯科学会認定医

日本歯科審美学会会員

日本小児歯科学会会員

テオシアルディプロマ取得

モード感あふれる衿元とシルバーのラインで知的に美しく — Beads Berry

信頼を身にまとう、レディスドクターコート

親しみやすい医院であるために

当院は地域に根付いた医療の提供を目標とし、お父さまからお年寄りまで皆さまに信頼される医院でありたいと考えています。一般的な保険診療からやホワイトニング、アンチエイジング、インプラントや口臭ケアなどの保険外診療まで歯や口元の様々なニーズに対応しています。

おもてなしの心を大切にすることで、多くの方が歯科医院に抱いている「怖い」「痛い」などのネガティブなイメージを払拭し、「綺麗な口元になって嬉しい」というポジティブなイメージを持ってもらえるよう心がけています。



ポジティブなイメージの医院づくりに白衣は欠かせない。声楽家としても活躍されている先生は、とても明るく前向き。

白衣の持つ役割

父が小児科を開業していることもあり、小児歯科には特に思い入れがあります。白衣はお子さまに恐怖心を与えずに通院してもらうための重要なアイテムだと思っています。柔らかい色合いのチュニックは優しい印象を与え、子どもたちを包み込むような役割を果たしてくれます。

より医療者らしくプロフェッショナルな印象を表現したい時はドクターコートを着ることが多いですね。TPOに合わせたスタイルで診療することによって、すべての患者さまに少しでも安心感を与えることができると考えています。



コートは綺麗なシルエットで素材にストレッチがあり、着たまま診療しても快適なものを選んでる。

お気に入りの白衣

心地よい空間で、患者さまに安心して治療を受けていただくために白衣選びはとても重要なポイントだと考えています。

当院は院長と私の歯科医師2名体制で診療しています。ふたりともナガイレーベンのビーズベリーシリーズを着ているのですが、男女のデザインがそれぞれ洗練されていて、統一感もあり医院の雰囲気にもピッタリです。チュニックは涼感素材なので長時間治療が続いても快適。柔らかい素材感でストレスを感じず笑顔で対応できます。洗濯しても型崩れしないのでキレイに着ることが出来てお気に入りです。



院長の笹澤武史先生とご夫婦で診療。内装にもマッチした同シリーズのユニフォームを着用している。

着用アイテム

チュニック：LH-6282 (オフホワイト)
ドクターコート：FT-4440 (Tシルバーグレー)
男子上衣：LH-6262 (チャコール)

商品の詳細はWEBで <http://www.nagaileben.co.jp>